

6月2日から6日までが、第2回宮高環境週間で、6月5日は、世界環境デーです。それらにちなんで6月は「環境」特集にしました。

宮川高校
図書館
No.3

環境⇔身近

「見る」「知る」から「身近」への
3ステップで本を紹介します！

環境を「見る」

環境を「知る」

環境を「身近」に

6月 (水無月、風待月、葵月) June

●● メッセージ ●●

今年は例年よりも早く梅雨入りしました。6月はすっきりしない天気が多くて祝日が無いので、個人的には一年の中でももっとも長く感じる月です。そんな6月が終って7月になると、あっという間に夏休みになってしまうので、6月のうちに自分が夏休みに取り組みたいことを見つけてみませんか？

●● 連絡 ●●

図書館文化講座行います

詳しくは裏面を見て下さい☆

皆さんの参加をお待ちしています♪

●● 6月の花言葉と誕生石 ●●

◇6月の花言葉◇

アジサイ: 移り気・辛抱強い愛情

ハナショウブ: やさしい心

◇6月の誕生石◇

ムーンストーン: 健康・長寿・富



● 1001 世界の絶景

砂漠から極寒の地、山の頂から深海世界まで、世界の様々な場所の 1001 の絶景を集めた本。この本を読むと地球の色々な姿を垣間見ることができます。世界一周旅行は中々できませんが、写真を見ることによってその景色をイメージすることができます。写真をバラバラめくだけで、世界旅行をした気分になれますよ。

● 地球環境館

地球環境に関する図鑑です。写真付で分かりやすいです。「環境」という言葉は、自然環境だけでなく社会、文化的な環境を指すこともあります。実は私たちが生活している場所も「環境」と言えるのです。大きくイメージしがちな環境という言葉をも身近なものとも考えることが出来ます。

● 不都合な真実

アメリカ元副大統領、アル・ゴア氏が書いた本。今地球上で起こっている環境の悪化を、「不都合な事実」として紹介しています。異常気象の様子や地球環境の変化を、インパクトのある写真と文章で説明しているので、日常生活の中では中々気づかない環境の変化を伝えてくれる本としておすすめできます。

● 地球共生

「環境」問題の基本を知る本としておすすめなのがこの本です。イラストが多く使われていて読みやすいです。地球環境の悪化は急激な人口増加と、それに伴う化学燃料の使用が原因の中心に挙げられています。この問題を解決するのは容易ではありませんが、今後避けて通れない問題です。

● エコ*コモノ

自分の生活の身近な場所に自分で作ったリサイクル小物があると、環境を大切にしていると実感できそうです。それを実践する時におすすめなのがこの本です。お菓子のパッケージを使って小物の作り方が載っているのですが、どれもかわいいものばかりで実際に使ってみたくなるものばかりです。見るだけでも楽しい本です。

● もったいない

ノーベル平和賞受賞したケニアのワンガリ・マータイさんが大切にしているのは「もったいない」という日本の言葉です。日々の生活の中で小さなもったいないを積み重ねることが地球環境を守っていくことにつながります。絵+文の絵本のような本なので読みやすいですよ。